リーディングDXスクール事業 【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

＜教育利用＞ ⑪ 「絵本を作ろう」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard、Canva テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル：絵本を作ろう

【パイロット的な取組の段階】
② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】
〇目標
・絵本を作るテーマを「自らの子どもに初めてあげる心のこもった絵本」とすることで、生成AIに頼り切らない学習を目指しています。
〇生成AIを活用して絵本を作る目的
・生成AIの利活用を通して生成AIの仕組みを理解する。
・「自分にはできない」を「自分にはできる」という発想を育む。
・プロンプト作業を通して子どもたちが考えていることを整理し表現する力を養う。
・創造性や思考力を養う。
【入力したプロンプト】
物語作成
#絵本の物語を作成するお手伝いをお願いします。
#幼児向けの絵本を作成したいと考えています。
画像生成
#○○な瞬間を描写してください。

実践のふり返り
【成果】絵本の物語を生成するのは、アイディアを引き出したり、フォローしたりを先生一人がやるのは苦労がある。しかし生成AIを活用することでうまく生徒一人ひとりに対応することができた。さらには絵本の絵を生成する際には「〇〇な瞬間」をいうプロンプトで生成するとうまくいきやすいこともわかった。一連のプロセスを通すことでプロンプトのコツを生徒がつかめるようになった。
【課題】プロンプトをうまく使いこなせる生徒とそうでない生徒に差が出てしまった。いくつも実例を積み重ねて不変的に対応できる授業プランをねる必要がある。絵のタッチを一様にするのが難しい。プロンプトでどうにか絵のタッチまで一様にできるように工夫する必要がある。